

全日本スノーボード技術選手権大会にて SAK 所属の小谷玲愛選手 3 位、石塚真理選手 7 位入賞！

2024年2月29日から3月3日までの3日間の日程で、群馬県尾瀬戸倉スノーパークで開催された第21回全日本スノーボード技術選手権大会において、SAK から代表選手として出場したアルペンス



スタイル女子の小谷玲愛選手が3位入賞、フリースタイル女子の石塚真理選手が7位に入賞しました。

本年度から、会場が群馬県尾瀬戸倉スノーパークとなり、全国から300人弱の強豪選手が集まり競技が行われました。

SAKからは15名の代表選手がエントリーし、うち4名の選手が決勝に進出しました。

決勝に進出した小谷選手と石塚選手は、初日は軟雪急斜面のコートや、高低差や不等間隔の人口ウェーブの中に複数のキッカーのある難コースを攻略出来ない選手が多い中、各種目をコンスタントに高得点をマークし、2日目以降は良好なハードバーンとなった競技コースでも各種目高得点をキープし、小谷選手は3位入賞、石塚選手は初入賞となる7位となりました。

特に石塚選手の出場したフリースタイル部門は、激戦カテゴリーながら、各種目とも並いる現役デモンストレーター・元デモンストレーターと変わらない質の高い滑りを見せていました。

今回の大会に向けてSAKでは、スノーボード技術強化合宿を1回増やし、選手の強化を図りました。その結果出場した選手の順位が上がり、強化合宿の効果があったようです。

次回大会に向けて、更に選手強化を図り多くの選手の順位が上がるようサポートを行います。ご期待ください。

SAK 教育本部・スノーボード委員会
委員長 小池 光